



坂の上の雲ミュージアム設計にあたって

建築家 **安藤 忠雄**



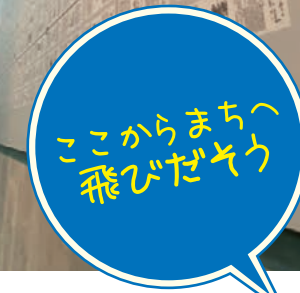
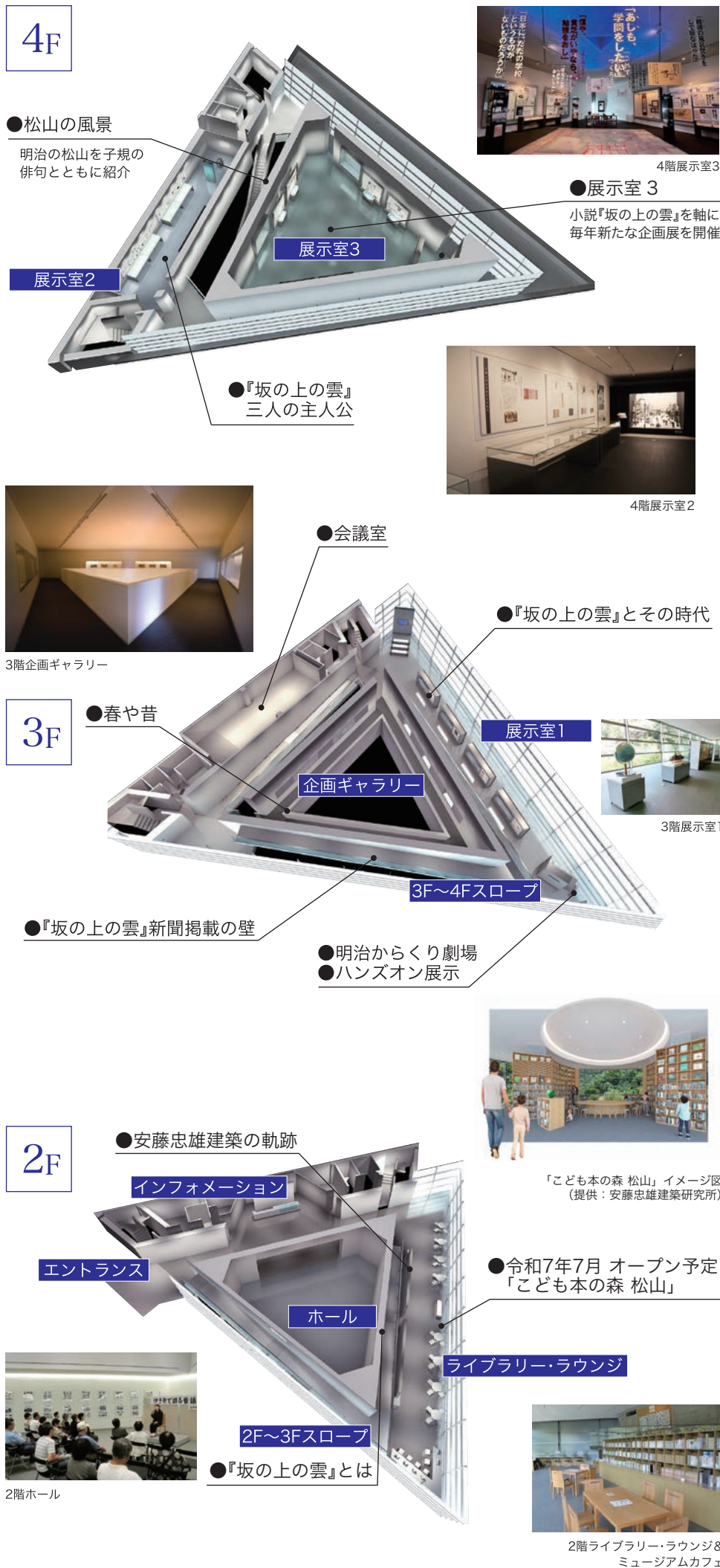
「坂の上の雲ミュージアム」の計画にあたって最も表現したかったのは、正岡子規、秋山好古・真之兄弟など、司馬遼太郎さんが愛した、自由な心を持ち「公」のために命を懸けた明治の日本人たちの、力に満ちた時代精神です。建物は城山公園と市街地の境界部分に位置し、来館者は三角形を描くスロープでつながれた展示室を、回遊式庭園を楽しむようにあがっていきます。歴史と共に回遊しながら、明治の精神を感じ、一人一人が思索することのできる空間となるよう心がけました。この施設が、多くの人々に愛され、司馬さんの志に恥じない、真の意味での「公」のための文化施設となることを、心から願っています。



◎住所
松山市一番町三丁目20番地
◎利用時間
9:00～18:30(入館は18:00まで)
◎休館日
毎週月曜日(休日の場合は開館・臨時開館あり)
※毎年2～3月は、展示替のため、展示室が観覧できない期間がありますのでご了承ください。
◎駐車場無(車いす使用者用6台有)
◎観覧料
一般 500円(400円)
高齢者(65歳以上) 250円(200円)
高校生 250円(120円)
※中学生以下無料
※()内は20人以上の団体割引料金
※R7.3.31までは旧料金適用
◎TEL/089-915-2600
◎URL/https://www.sakanouenokumomuseum.jp/



坂の上の雲ミュージアム 公式HP
坂の上の雲ミュージアム 公式Instagram



まちづくりの中核施設

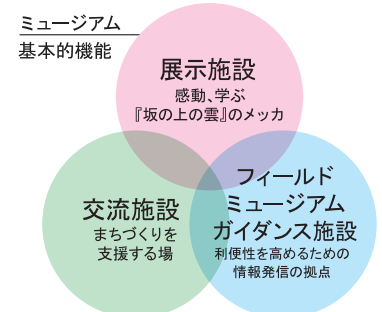
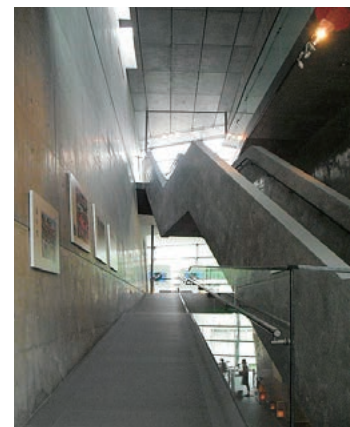
坂の上の雲ミュージアム

なだらかな坂道が案内する『坂の上の雲』の世界

主人公たちの生きた時代、足跡、夢がギュッと詰まった三角形の建物。
ここからまちへ飛びだそう。『坂の上の雲』の足跡を訪ね、それぞれの夢を描こう。

地上4階地下1階の鉄筋コンクリートのガラス壁面いっばいに松山城の森が広がり、城郭と萬翠荘が浮かぶ。自然の中で調和する江戸建築と大正建築、そして現代建築。昔と今、自然・文化・歴史をつなげていく建物が坂の上の雲ミュージアムです。

設計は「司馬遼太郎記念館」を手がけた日本を代表する建築家安藤忠雄さん。館内には主人公たちの足跡や明治の日本・松山に関する資料が展示されていて、近代国家として歩み始めた当時の空気が、身近に感じられます。壁一面に展示される『坂の上の雲』の全スクラップ(産経新聞1,296回連載)からは作家のエネルギーが体感できます。令和7年7月には、ミュージアム2階に、未来を担うこどもたちが本に親しむための図書施設「こども本の森 松山」がオープン。



中間部分の支柱を省いた珍しい構造の空中階段



「こども本の森 松山」イメージ図 (提供：安藤忠雄建築研究所)



「坂の上の雲」のまちづくりPR映像

